

台風7号による農業用ハウスの被害防止対策について

8月15日(木)に 水戸地方気象台から「台風第7号に関する茨城県気象情報 第2号」が下記のとおり発表になりました。

台風第7号の接近に伴い、茨城県では16日昼前から17日にかけて暴風やうねりを伴った高波に厳重に警戒し、16日朝から17日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒してください。

については下記を参考に、台風による被害防止対策を徹底して下さい。

- ① 営農News第3175号(台風5号への備えと通過後の被害軽減対策)
- ② 台風の接近・通過による農作物等の被害防止に向けた技術対策について (pref.ibaraki.jp) (農業総合センター)
- ③ 「茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル」 <https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nougi/kenfu/housemanual.html> (令和5年9月改定)

↓ 台風(強風)が予想される場合の対策のポイント

○天気予報等により、積極的に気象情報を収集する。

○事前の準備をしっかりと行う。

【台風接近前】

※別紙「台風が襲来する1日～2日前までに行っておく項目」チェックシートを参照し、事前対策(ハウス周囲の片づけ、強風への備え、周辺の施設・機械の点検、潮風害への備えなど)を行う。

【台風襲来直前】

※別紙「台風が襲来する直前に行う対策」チェックシートを参照し、事前対策(戸締りなどの直前対策)を行う。

○台風の進行方向の東側は、特に、強風に注意する。

○台風通過中は、人命優先のため作業は絶対に行わないこと。

○台風通過後は早急に施設を見回り、作物の生育回復のため、潮風害対策、草勢回復、病害予防等の当面の対策を徹底する。



<参考> 台風接近に備えたパイプハウスの対策事例

周辺部分の片付け

周りに強風で飛ばされるものがある場合は、きれいに片付けておく

- ・妻部や風あたりの強い部位には、防風ネット等を張る
- ・側面部分はビニールがめくれぬよう、スプリング、パッカー等で固定する

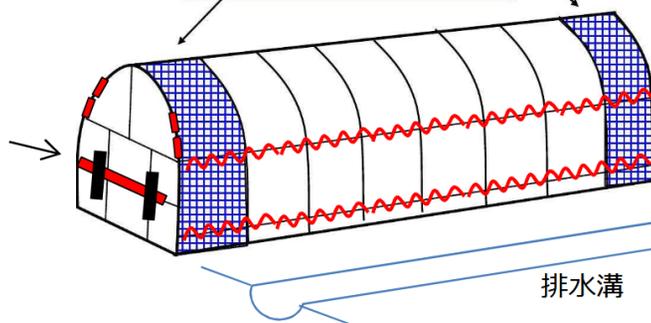
点検・修理の徹底

金具のゆるみ、ビニールの破れ、過去に損傷した場所の修理を徹底する

出入り口の固定

風で飛ばされないように固定する

※ビニール等で隙間を塞ぎ、かんぬきやスプリング等でしっかり固定する



ハウス周辺の排水対策

ほ場が水に浸かると基礎部分の浮きやすくなる

台風が襲来する1日～2日前までに行っておく項目

項目	チェック欄	チェック項目(点検ポイント)	備考(留意点等)
1		ハウス・温室の周辺は、片付いているか？ ●飛ばされる恐れがあるものは、施設周辺に置かない	小石、木片等の飛来で、ガラスや被覆材が破損する。ハウス周辺のもの、しっかりと固定したり、片付けておく。
	2	出入り口の戸締りは行っているか？出入り口の戸車、レールのはずれや傷みはないか？	強風に建具がおおられ破損する。出入り口等が破損すると風が吹き込み、被害が大きくなる。
3		風が吹き込むことが予想される「隙間」は、すべてふさいである	風の吹き込みにより、被覆材の剥離、飛散や施設の浮き上がりの原因となる。天窓が

台風が襲来する直前に行う対策

項目	チェック欄	チェック項目(点検ポイント)	備考(留意点等)
直前対策	17	出入り口等、施設できるところは、しっかり戸締りしてあるか？天窓、サイド換気部はしっかりしまっているか？ハウスの周辺は片付いているか？	隙間からの風の吹き込みにより、被覆材が剥離、飛散したり、施設の浮き上がりにより、ハウスが破断・倒壊する可能性がある。
	18	換気扇のあるハウスは、換気扇を積極的にまわして、フィルムを引き付けておく(吸入口は閉じておく)。	換気扇をまわして、ハウス内部を負圧にすることにより、強風時に被覆材がバタつくのを防ぐことができる。

茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル参照

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nougi/kenfu/housemanual.html>

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は JA 全農いばらきホームページでもご覧になれます。